

2012年度「市民のための環境公開講座」受講者募集
～ 今年で20年目、野外体験やワークショップなど特別講座も開催 ～

公益社団法人日本環境教育フォーラム、公益財団法人損保ジャパン環境財団および株式会社損害保険ジャパンは、2012年7月17日から三者共催の「市民のための環境公開講座」を開催します。講座は「リオ+20、そしてこれからの地球は」、「原子力災害に向き合うために」、「自然と歴史のまち 東京」の3パートで、パートごとに3講座を開催します。各パート250人の受講者を募集します。

また、より多くの皆さまに関心を持っていただけるよう、上記の講座とは別に、野外体験やワークショップなどの「特別講座」を2回開催します。

■ 「市民のための環境公開講座」について

「市民のための環境公開講座」は、環境問題について、より深く考え、具体的な活動を実践していくことを目的として、1993年にNGOと企業のパートナーシップ事業の先駆けとしてスタートしました。今年で20年目を迎え、これまでに延べ1万7千人の方々に参加いただいています。

■ 講座概要（開催は毎回火曜日、18時30分から20時15分まで）

パート	開催日	概要
【パート1】 リオ+20、そして これからの地球は	7月17日(火) 7月24日(火) 7月31日(火)	6月にリオデジャネイロで開催される国際会議「リオ+20」での議論の内容報告や、これからの地球環境問題のあり方について考えます。
【パート2】 原子力災害に 向き合うために	9月11日(火) 9月18日(火) 9月25日(火)	国内の公害の歴史、海外における原子力災害や脱原発に取り組むドイツの事例から、日本のエネルギー問題を見つめます。
【パート3】 自然と歴史のまち 東京	10月16日(火) 10月23日(火) 10月30日(火)	人口が多く産業がひしめく東京の「知られざる自然の姿」を歴史的な話とともに紹介します。

受講料 : 1パート（3講座分） 一般 1,000円（学生 500円）
※パート単位での申込となります。

会 場 : 【パート1・2会場】
損保ジャパン本社ビル2階大会議室（新宿駅西口から徒歩7分）
【パート3会場】
日本興亜損害保険日本橋ビル2階会議室（地下鉄「日本橋」駅から徒歩1分）

定 員 : 各パート 250人（定員になり次第締切）

申込方法 : WebサイトまたはFAX

【Webサイト】ホームページからお申し込みください。http://www.sjef.org/kouza/
【FAX】募集チラシ裏面の申込書にご記入のうえ、FAXでお申し込みください。

お申し込みに関するお問い合わせ先 : 「市民のための環境公開講座」事務局
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 (株)損害保険ジャパン内
TEL : 03-3349-9598 (平日9時~17時) FAX : 03-3349-3304

■ 特別講座概要

テーマ	開催日	概要
船でめぐる江戸のまち	7月14日(土)	神田川・日本橋川を船でめぐり、川から見て感じる環境問題や水路の町であった江戸時代の名残を感じていただける水辺のエコツアーです。
社会を変えるシゴト・ワークショップ	10月27日(土)	若手社会人・大学生対象のワークショップです。社会に貢献し、社会を変えていくにはどうしたらよいかについて、皆さんと一緒に考えます。

※本講座の一部は、環境への配慮から自然エネルギーによるグリーン電力を活用して運営します。

※特別講座の募集概要は、詳細決定次第、ホームページにてご案内します。

<http://www.sjef.org/kouza/>

※本講座事務局（損保ジャパン環境財団）からの発信情報は、Twitter や Facebook でもご覧いただけます。

[Twitter] http://twitter.com/NKSJ_sjef

[Facebook] <http://www.facebook.com/sompo.kankyo>

主催：公益社団法人日本環境教育フォーラム

公益財団法人損保ジャパン環境財団

株式会社損害保険ジャパン

協賛：日本興亜損害保険株式会社

後援：環境省、文部科学省、東京都、新宿区、一般社団法人経済団体連合会

以上

市民のための 環境公開講座

東日本大震災、福島第一原子力発電所事故、そして度重なる自然災害。これらの経験を通じ、私たちは誰もが「当事者」となり「いまとこれから」に向き合う、そんな時代になりました。現実の課題を正面から受け止め、日々変化する世界の先を読み、そして未来を私たちの手で創っていく。20年目を迎える「市民のための環境公開講座」は原点に立ち戻り、環境問題の解決に向けて「行動する市民」の皆様を応援してまいります。ご参加をお待ちしています。

2012

パート1

リオ+20、そして
これからの地球は

新宿会場



リオ+20の成果と
今後の展望
持続可能な開発は実現可能か？
塚本 直也 氏
環境省地球環境局国際連携課長



パート2

原子力災害に
向き合うために
～過去と海外に学ぶ～

新宿会場



放射能環境汚染下
での暮らし
河田 昌東 氏
NPO法人チェルノブイリ教授・中部理事



パート3

自然と歴史のまち
東京

日本橋会場



緑の東京史
江戸東京のみどり文化
進士 五十八 氏
東京農業大学名誉教授・前学長／農学博士



1992年-2012年
2つのリオ会議と世界の変化
岡島 成行 氏
日本環境教育フォーラム理事長



水俣病事件の
教訓は生かされたのか？
福島原発事故の諸問題を環境倫理の視点から解きあかす
鬼頭 秀一 氏
東京大学新領域創成科学研究科教授



銀座ミツバチ物語
ミツバチを通して、都市から環境との共生を発信
田中 淳夫 氏
NPO法人銀座ミツバチプロジェクト副理事長



環境の世界史
の可能性
羽田 正 氏
東京大学副学長／東洋文化研究所教授



ドイツのエネルギー政策
脱原発、再生可能エネルギーと経済成長
サーラ・スヴェン 氏
上智大学国際教養学部准教授

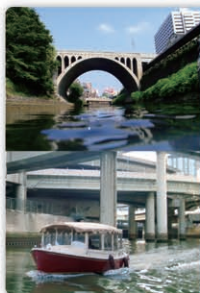


海鳥から見た東京の
自然、とくにアホウドリの復活
長谷川 博 氏
東邦大学理学部教授



受講料 各パート1,000円 学生500円 1パート=105分の講座×3回 定員 250名 パートごと申込可 時間 18:30~20:15 18:00 受付開始

特別講座 ▶ 野外体験やワークショップなど充実の特別講座も同時開催!



船でめぐる江戸のまち 7/14 土

定員15名 詳細決まり次第ホームページにて募集開始

東京は昔、水路の町でした。船は江戸時代の主要な運輸・交通手段として活用されていました。今回は「神田川・日本橋川」を船でめぐり、川から見て感じる環境問題や、江戸時代の名残を目にすることができる、水辺のエコツアーです。

協力：NPO法人あそんで学ぶ環境と科学倶楽部



若手社会人・大学生向け
社会を変えるシゴト・ワークショップ 10/27 土

定員50名 詳細決まり次第ホームページにて募集開始

大学生・若手社会人の皆さんと一緒に「働くこと」に向き合い、自分がどのような仕事を通じて社会に貢献し、社会を変えていくことができるのか考える時間です。

青木 将幸 氏 青木将幸ファシリテーター事務所代表
本村 拓人 氏 株式会社グランマ代表
田中 理恵 氏 NPO法人てこねっと石見理事
守谷 修 氏 国土交通省都市局



「市民のための環境公開講座」は、環境教育を総合的に推進する日本環境教育フォーラム、損保ジャパン環境財団、損保ジャパンが共同で開催する環境問題について考える公開講座です。これまで企業人、行政関係者、NGO関係者、教育関係者、主婦、学生など、延べ17,000人以上の方々にご参加いただいています。
主催：(公社)日本環境教育フォーラム／(公財)損保ジャパン環境財団／(株)損害保険ジャパン 協賛：日本興亜損害保険(株)
いいね!&フォローして、環境情報を集めよう!

twitter http://twitter.com/NKSJ_sjef

facebook <http://www.facebook.com/sompo.kanky>



このイベントに使用する
電力(3000kWh)は
風力発電によるものです



エコ間伐紙を
使用しています
【間伐材/リサイクル紙
年間平均10%以上】

詳しくはWEBで... <http://www.sjef.org/kouza/>

お申し込みは裏面をご覧ください。

(99NE5751) [200645] Ver 6.00

